刈り払い機用ナイロンコード対応安定板「ジズライザーエアー」

北村製作所

ユーザー通信

三重発

北村製作所（津市）が製造・販売する「ジズライザーエアー」（以下、エアー）は、ナイロンコードを簡単に装着できる刈り払い機用安定板だ。刈り刃の裏にセットしてナイロンコードと併用すれば、水路や側溝、建物などの際刈りが楽にできる。じゃり地などナイロンコードだけで行う草刈りや、刈り刃だけの草刈りでも使え、3パターンの作業が可能だ。刃と一体となって回転する安定板のため、刃先を地面に付けてスムーズに草を刈れる。活用する法人に使い勝手を聞いた。

電気柵周りの草刈りに、刈り刃と「ジズライザーエアー」装着のナイロンコードを併用して作業する内保さん（三重県伊賀市で）

あぐりぴあ伊賀（水田経営）

刈り刃と併用も 1台で使い分け コードの強化を

三重県伊賀市の農事組合法人あぐりぴあ伊賀は、昨年2月に発足した集落営農組織だ。水田30㌶を経営し水稲20㌶、二毛作の小麦・大豆、野菜を栽培する。

水路や側溝、水田周囲に張り巡らせた獣害防止用の電気柵付近などの草刈りは、刈り払い機での慎重な作業が欠かせない。

そこで組合員5人が「エアー」を購入した。理事の内保幸作さん（55）もその一人。内保さんは通常、「エアー」を安定板に使って刈り刃だけで作業する。際刈りの時はナイロンコードを「エアー」に装着して刈り刃と併用し、じゃり地など刈り刃が使いにくい場合はナイロンコードだけと、場所に合わせて使い分ける。

内保さんは「電気柵の支柱や植えたばかりの苗木などは、刈り刃で簡単に切れてしまう。ナイロンコードは切断の心配がなく、刈り刃との併用で安心して際刈りができる」と評価する。

ナイロンコードの装着も「エアー」の取り付け穴に2本のナイロンコードを差し込むだけで「とても楽だ」という。

「地をはわせる感覚で扱えるので軽く感じ、長時間の作業でも疲れにくい。腰痛持ちなのでありがたい」と内保さん。おわん状の「エアー」が刃と一体となって回転し、地面を滑るように草を刈れるためだ。地面に凸凹があってもスムーズに移動し、刈り払い機を持ち上げて刃先を浮かせる必要がない。

◇

夏場は草刈りに追われる毎日が続く。電気柵の支柱周りで急いで作業すると、近付き過ぎてナイロンコードが支柱に引っ掛かることもある。「軽く引っ張ればすっと取れるが、すり減りも早くなる。コードをもっと強化できないか」と要望する。

改良品を検討

ナイロンコードで際刈りする場合、できるだけコードの先端部が当たる程度で作業してください。先から順にすり減り、1時間程度はもつと思います。現在、コードを製造するメーカーに相談しながら、すり減りの少ないコードを検討しているところです。「エアー」を使えば、刈り刃用とナイロンコード用の2台の刈り払い機を用意する必要がなく、それぞれの長所を生かした作業ができます。

（北村製作所・北村清司社長の話）

返信

▶「ジズライザーエアー」

刈り払い機用安定板「ジズライザーエアー」に、ナイロンコードを装着できるように改良した安定板。合成樹脂製で重さ98㌘と軽く、金属製の従来品と比べて耐久性は5倍。するように草を刈る〝地ずり〟作業ができ、体への負担が軽い。ナイロンコード8本付きで希望小売価格は2350円。問い合わせは北村製作所、☎059（256）5511。